

# ガス事故の概要(1986年～2006年)

経済産業省

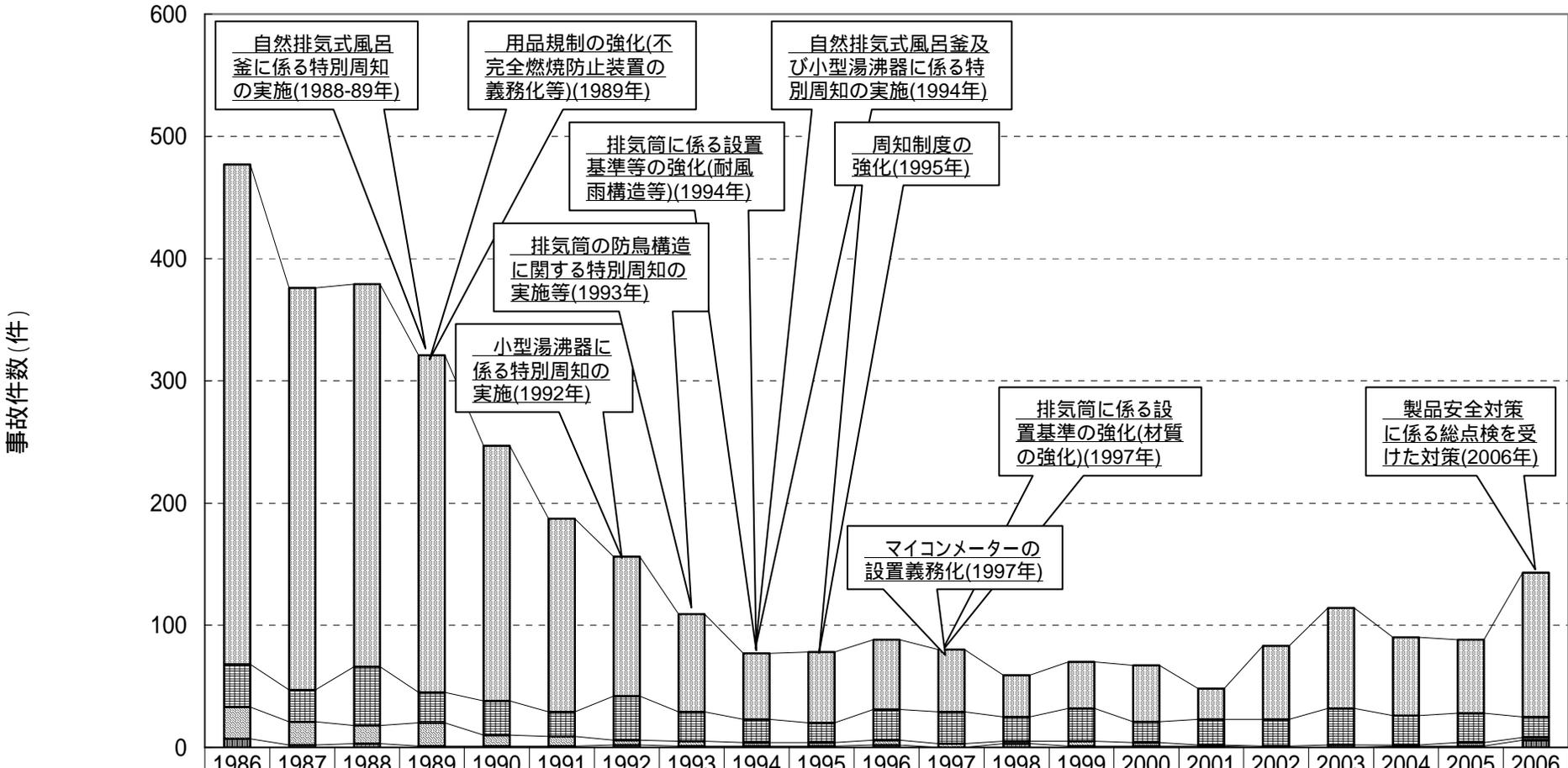
原子力安全・保安院

2007年4月

# 目次

1. 消費に係る事故件数の推移(現象別)
2. 消費に係る死亡事故件数の推移(現象別)
3. 消費に係る死亡者数の推移(現象別)
4. 1986年～2006年の消費に係るガス事故の推移(現象別)
5. 1986年～2006年の消費に係る死亡事故の推移(現象別)
6. 不完全燃焼による一酸化炭素中毒死亡事故の発生状況

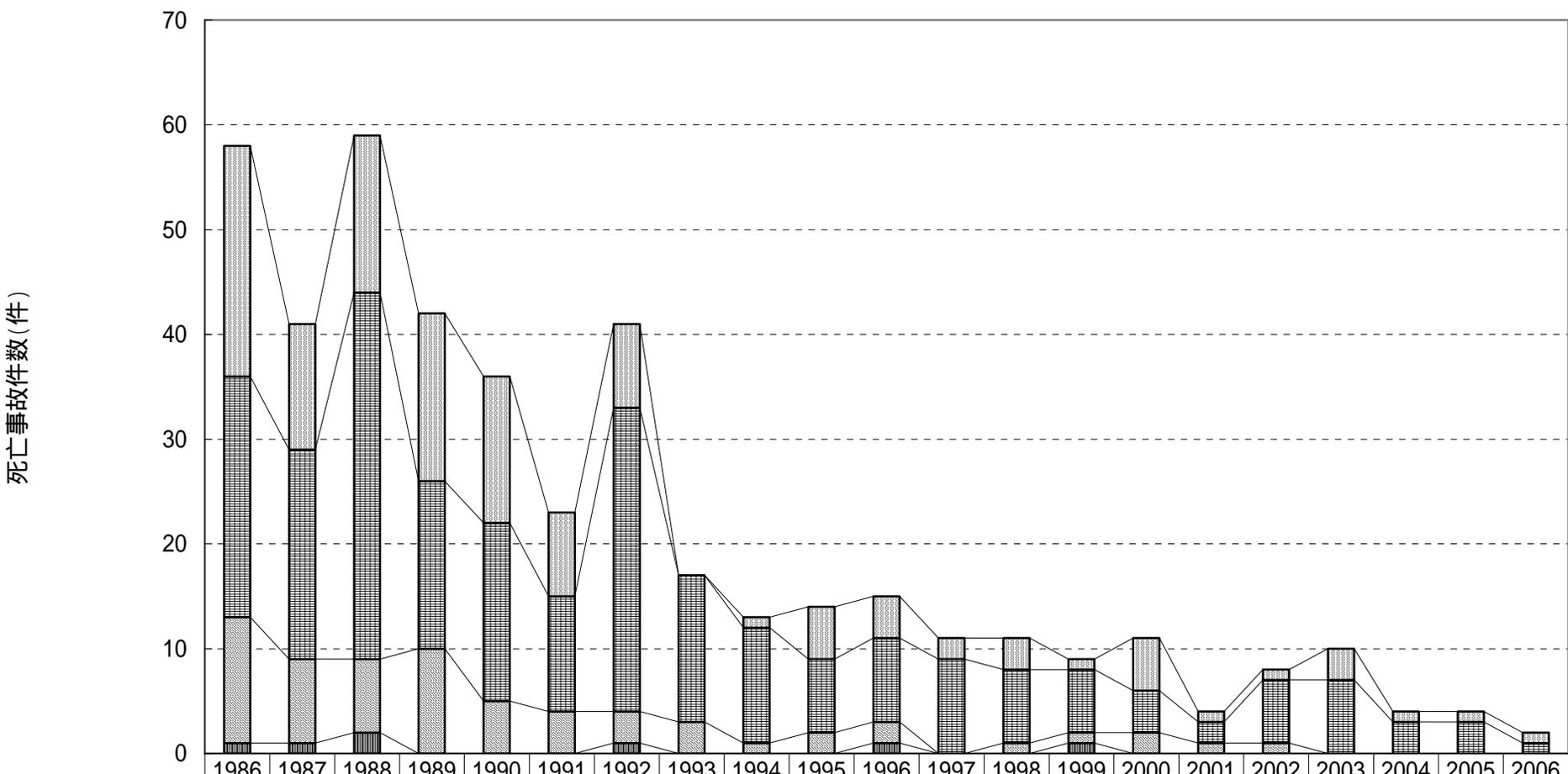
# 1.消費に係る事故件数の推移(現象別)



	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
■ 漏えい着火	409	329	313	276	209	158	114	80	54	58	57	51	34	38	46	25	60	82	64	60	118
■ 不完全燃焼	35	26	48	25	28	20	36	24	19	16	25	26	20	27	17	21	22	30	24	24	17
■ ガス中毒	26	19	15	19	9	8	4	4	3	3	4	3	2	4	3	1	1	2	1	3	2
■ 酸欠・その他	7	2	3	1	1	1	2	1	1	1	2	0	3	1	1	1	0	0	1	1	6
総計	477	376	379	321	247	187	156	109	77	78	88	80	59	70	67	48	83	114	90	88	143

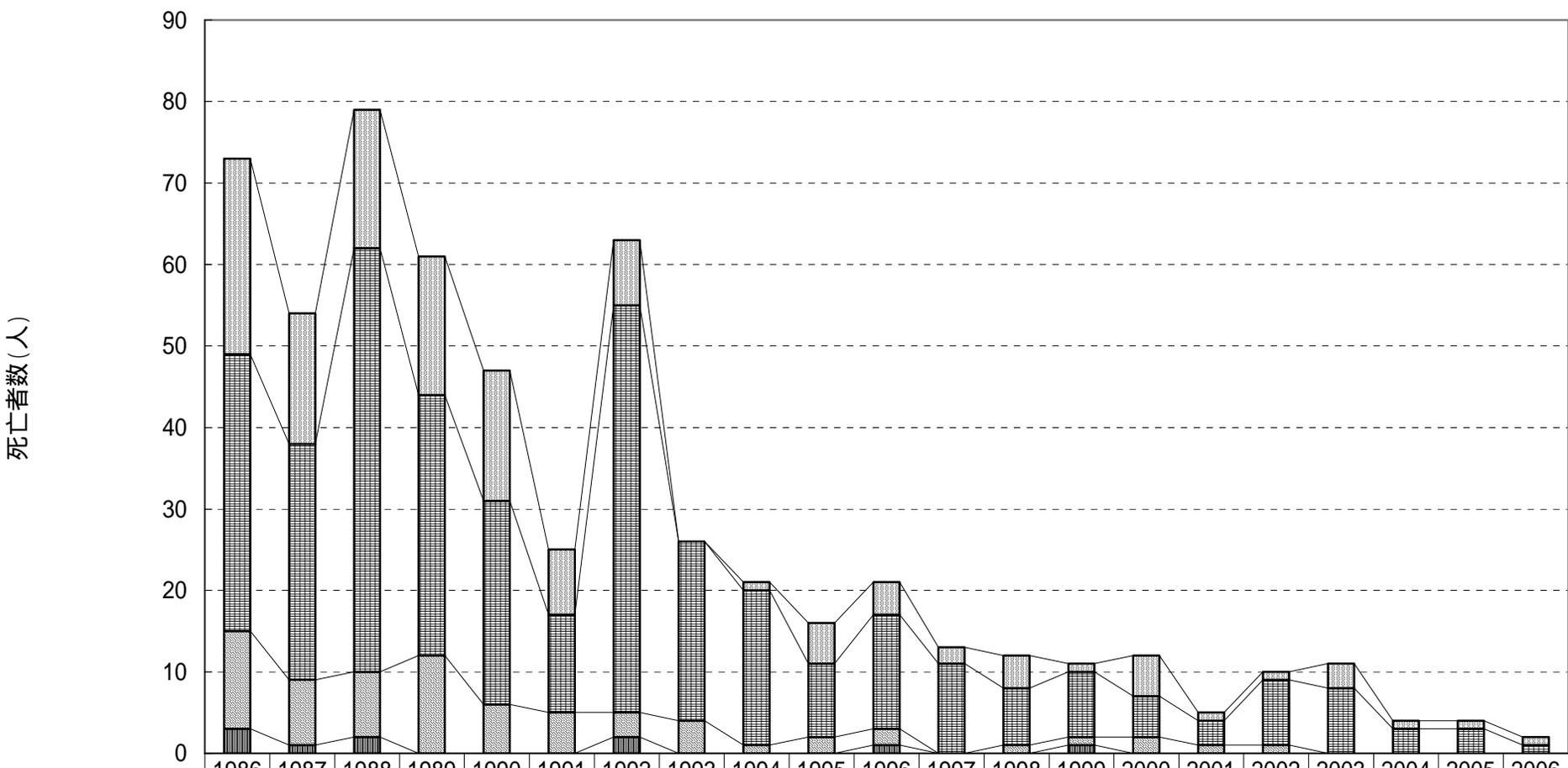
(注1) 2006年の漏えい着火による事故件数は118件となっているが、内訳は、死亡事故1件、重傷事故10件、軽傷事故40件、人損のない事故67件である。  
 (注2) グラフ中にある吹き出しは、これまでに講じてきた対策である。

## 2.消費に係る死亡事故件数の推移(現象別)



	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
■漏えい着火	22	12	15	16	14	8	8	0	1	5	4	2	3	1	5	1	1	3	1	1	1
■不完全燃焼	23	20	35	16	17	11	29	14	11	7	8	9	7	6	4	2	6	7	3	3	1
■ガス中毒	12	8	7	10	5	4	3	3	1	2	2	0	1	1	2	1	1	0	0	0	0
■酸欠・その他	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
総計	58	41	59	42	36	23	41	17	13	14	15	11	11	9	11	4	8	10	4	4	2

### 3.消費に係る死亡者数の推移(現象別)



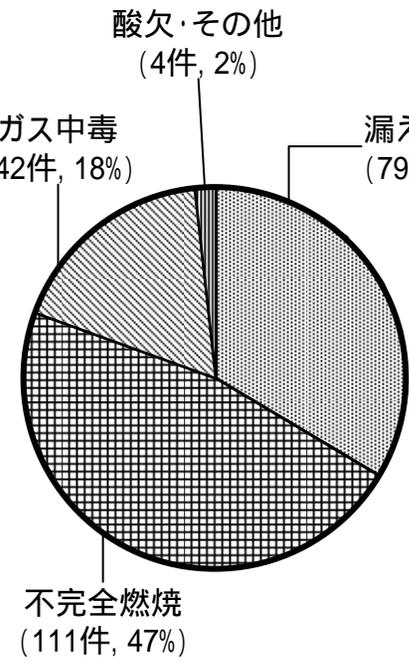
	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
■ 漏えい着火	24	16	17	17	16	8	8	0	1	5	4	2	4	1	5	1	1	3	1	1	1
■ 不完全燃焼	34	29	52	32	25	12	50	22	19	9	14	11	7	8	5	3	8	8	3	3	1
■ ガス中毒	12	8	8	12	6	5	3	4	1	2	2	0	1	1	2	1	1	0	0	0	0
■ 酸欠・その他	3	1	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
総計	73	54	79	61	47	25	63	26	21	16	21	13	12	11	12	5	10	11	4	4	2

#### 4. 1986年～2006年の消費に係るガス事故の推移(現象別)

	漏えい着火	不完全燃焼	ガス中毒	酸欠・その他	総計
1986年-1990年	1,536件( 79件) ( 90名)	162件(111件) (172名)	88件(42件) (46名)	14件( 4件) ( 6名)	1,800件(236件) (314名)
1991年-1995年	464件( 22件) ( 22名)	115件( 72件) (112名)	22件(13件) (15名)	6件( 1件) ( 2名)	607件(108件) (151名)
1996年-2000年	226件( 15件) ( 16名)	115件( 34件) ( 45名)	16件( 6件) ( 6名)	7件( 2件) ( 2名)	364件( 57件) ( 69名)
2001年-2005年	291件( 7件) ( 7名)	121件( 21件) ( 25名)	8件( 2件) ( 2名)	3件( 0件) ( 0名)	423件( 30件) ( 34名)
2006年	118件( 1件) ( 1名)	17件( 1件) ( 1名)	2件( 0件) ( 0名)	6件( 0件) ( 0名)	143件( 2件) ( 2名)
総計	2,635件(124件) (136名)	530件(239件) (355名)	136件(63件) (69名)	36件( 7件) (10名)	3,337件(433件) (570名)

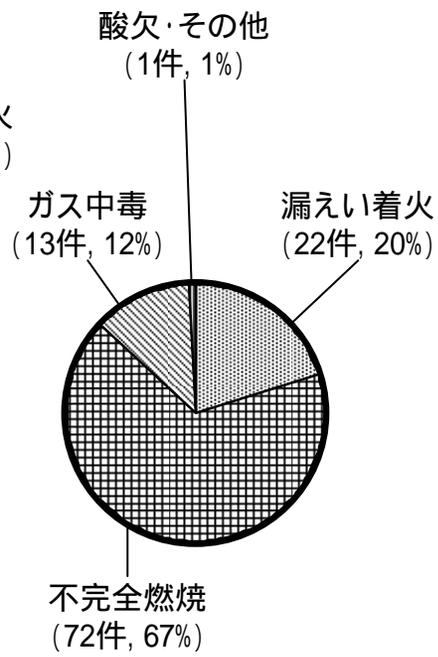
(注)括弧内は死亡事故件数及び死亡者数

# 5. 1986年～2006年の消費に係る死亡事故の推移(現象別)



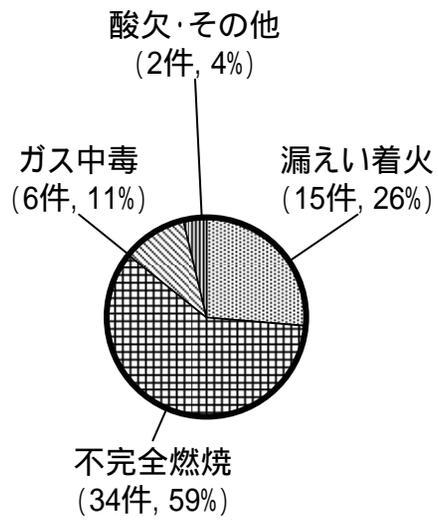
1986年～1990年

(236件)



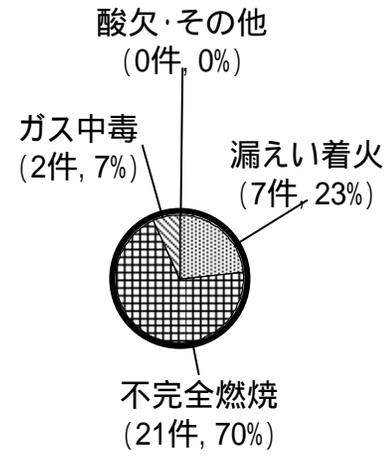
1991年～1995年

(108件)



1996年～2000年

(57件)



2001年～2005年

(32件)

## 6. 不完全燃焼による一酸化炭素中毒死亡事故の発生状況

### 不完全燃焼による一酸化炭素中毒死亡事故の推移(機器別)

	小型湯沸器	大型湯沸器	風呂釜	その他・不明	総計
1986年-1990年	46件	25件	32件	8件	111件
1991年-1995年	24件	23件	17件	8件	72件
1996年-2000年	4件	13件	8件	9件	34件
2001年-2005年	7件	7件	3件	4件	21件
2006年	0件	1件	0件	0件	1件
総計	81件	69件	60件	29件	239件